

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 83 2021年12月27日 JR東労組

新型コロナが再拡大した場合 私たちの雇用はどうなるのか？

オミクロン株 日本でも確認！

新型コロナ感染者数が一定程度に収まる中、駅や車内の混雑を見ると、鉄道のご利用は回復傾向に感じられます。しかし、世界ではオミクロン株が流行し、日本でも市中感染が確認されました。第6波が来てもおかしくありません。



感染が再拡大すれば雇用への影響は必至

感染が再び拡大すれば人出が減少し、JR 東日本の下期黒字化が達成できなくなる可能性や、場合によっては3年連続の赤字となる可能性も出てくるのではないのでしょうか。その時、社員の雇用や賃金はどうなるのでしょうか。



JR 東日本では新規採用者の抑制に加え、本社や新幹線総合車両センターにおける休業指示の実施などを行っており、**社外から見れば解雇回避義務を果たしています。**
次に行われるとすれば希望退職ではないのでしょうか。

年末手当交渉で会社は「社員の声は受け止める」と述べましたが、生活実感・労働実感を訴える組合員の声に応えているとは感じられません。そのような中で仮に赤字が続き、希望退職を募ることになった場合、社員の意見は聞き入られるのでしょうか。**他企業では一般的に、希望退職と言いつつも実質的な強制退職になっている**という話を踏まえれば、雇用危機と言えるのではないのでしょうか。

「労働協約」で解雇に歯止めをかけています！

JR 東労組は会社と締結している「労働協約」^(※)において、「業務量の減少その他経営上やむを得ない事由により、解雇を必要と会社が認めた場合」においても、「**組合と協議する**」ことを定めることで、**解雇への歯止め**をかけています。雇用危機の今だからこそ JR 東労組の必要性を議論しましょう！^{(※)労働協約は就業規則よりも優先されます。}

労働協約は、原則として組合員にのみ適用されます！
JR東労組に加入しているメンバーをみんなで確認しよう！

